

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績					その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考		
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			目標値	目標達成予定年(年度)	平成27年度		平成27年度	計画名
栄養・食生活	1	食育推進会議	「札幌市食育推進会議」では、食育推進計画の策定、その進捗に関すること等を審議しています。委員は、学識経験者、食に関係する団体の代表者、市民委員で構成されています。(保)保健所)	会議開催数	3	1	1	1	1	各年			第2次札幌市食育推進計画	1	各年	
	2	食生活指針の啓発事業	「健康」分野に加えて、「地産地消」や「環境に配慮する食生活」などの「食育」の観点を取り入れた「札幌市食生活指針」の普及・啓発に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター)	啓発回数	851	575	516	499					第2次札幌市食育推進計画			
				啓発人数	11,456	7,619	7,736	7,028	12,000	各年				12,000	各年	
	3	野菜摂取強化事業	市民に野菜摂取の喚起を図ることを目的として、8月を野菜摂取強化月間、「毎月、『1日』は、野菜の日」と定め、市内の給食施設やボランティア団体、野菜販売店・大型スーパー等と連携し、普及啓発等に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター)	啓発回数	2,102	2,218	2,835	2,883			【参考】市内全小・中学校において、野菜摂取強化の取組が行われている中、小中学生を対象とした食育アンケートでは、目標とする野菜摂取量の認知度が、白石区食育推進ネットワーク事業開始時の3割から6割に上昇した					
				啓発人数	42,046	45,934	51,899	58,322								
	4	栄養相談と栄養講習会	管理栄養士が個人に合わせた適正な食生活を支援するための個別の栄養相談と、離乳食などの子どもの食生活に関する講習会や糖尿病などの生活習慣病を予防するために食生活について学ぶ栄養講習会を実施しています。(保)保健所、各区保健センター)	個別栄養相談人数		40,898	37,983	38,265	38,340		本気めしプロジェクトの実施(全区で1～2回程度) 毎日朝食をとる中・高校生、20歳代男性の割合を増やす、野菜の1日あたり平均摂取量を増やすことを目的とする。(各区保健センター)	対象:高校生、大学生、専門学校生、20歳代の社会人 参加人数:318人 内容:主に栄養講話+調理実習 実施前、実施後のアンケート結果では、朝食の内容の改善が見られた。野菜摂取目標量の認知度が上がった。(各区保健センター)				
				栄養講習会	実施回数	1,360	1,367	1,358	1,421							
		参加者数	41,930		44,572	44,023	46,881									
	5	健康教育	生活習慣病の予防、健康増進等に関して管理栄養士が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(栄養・食生活)								地域住民アンケート協力者数:947人 健康教育前後のアンケート結果で、「主食・主菜・副菜を組み合わせる食べようと思う」「できるだけ食べようと思う」と回答した人は99%、「毎食野菜を食べようと思う」「できるだけ食べようと思う」と回答した人は99%、「1日3食食べようと思う」「できるだけ食べようと思う」と回答した人は97.4%。(各区保健センター)				
実施回数				313	316	310	302									
				参加者数	7,272	7,487	7,699	8,429								
6	特定給食施設指導	市内の※特定(多数)給食施設である病院、事業所、幼稚園等の約600施設の施設管理者等に対して、保健所の栄養指導員が栄養管理指導を行うとともに、健康づくりに係る啓発事業を行っています。(保)保健所) ※特定(多数)給食施設とは、特定かつ多数の人に対して1回50食以上、または1日100食以上継続して給食を提供している施設	指導回数		623	628	637	637								
			指導施設数		948	648	796	751								
7	外食・加工食品の栄養成分表示普及事業	市民自らが健康づくりを行うために外食や加工食品の栄養成分表示により、適正な情報提供を行うことが必要となっています。表示を普及させるために関係業者に対し、表示の普及啓発と方法等の指導を行っています。また、市民に対しては、表示された栄養成分の理解促進に向けた啓発事業を行っています。(保)保健所、各区保健センター)	栄養成分表示の店登録数		1,601	1,592	1,632	1,628	3,000	H29年度			第2次札幌市食育推進計画	3,000	H29年度	
			加工食品等指導・相談件数		72	71	80	72								
			啓発人数		4,722	3,468	4,986	5,954								
8	ここから健康づくり応援団(札幌市栄養成分表示の店)	「ここから健康づくり応援団」では、エネルギーなどの栄養成分表示を継続して3メニュー以上実施している外食料理店等を栄養成分表示の店として登録し、ステッカーを配付するとともに、ホームページ「食育情報」に店舗名等を掲載しています。(保)保健所)	登録店舗数		1,601	1,592	1,632	5,954				第2次札幌市食育推進計画	3,000	平成29年度		
9	ヘルシーメニュー事業	市民が栄養に配慮した食事を選べるよう、「栄養成分表示の店」推進事業の一環として、ヘルシーメニューを提供する外食料理店を増やす等、食環境整備に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター)	ヘルシーメニュー提供店舗数		18	10	26	21								

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績							その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値	目標達成予定年(年度)			平成27年度	平成27年度	計画名	
栄養・食生活	10	エコクッキングの推進	健康と環境に配慮した食生活を進めるために、「エコクッキング」の普及啓発を行っています。(保)保健所、各区保健センター)	エコクッキング啓発回数	402	480	661	596	450	各年			第2次札幌市食育推進計画	450	各年	
				参加者数	10,659	27,384	24,358	23,092								
	11	親子料理教室	幼稚園児・小・中学生とその保護者を対象として、親子が健康づくりのための食生活を学ぶ料理教室を、学校等で行っています。(各区保健センター)	開催回数	37	36	39	37	増やす		夏休み中開催のアンケート協力者:321人 実施後のアンケートで継続して実施したいこととして、小学生では「朝食を必ず食べる」71.8%、「野菜を毎食食べる」55.0%、「果物を食べる」63.2%／保護者では、「朝食を必ず食べる」74.2%、「野菜を毎食食べる」62.9%、「標準体重を維持する」46.5% (各区保健センター)	第2次札幌市食育推進計画	増やす			
				参加者数	1,012	966	937	1,140								
	12	妊産婦料理教室	妊産婦とその配偶者を対象に、妊娠中や産後の食生活の重要性を普及啓発するとともに、生活習慣病を予防する食生活について学ぶ料理教室を実施しています。(各区保健センター)	開催回数	63	58	52	50			参加者のアンケート結果では、今後の食生活で「朝食、野菜、牛乳・乳製品」の「食べる回数を増やす」と回答した人が増加。 また、「今後気をつけたい」こととして、『栄養バランス』が80%、『塩分』が72%と回答。(各区保健センター)					
				参加者数	633	664	522	470								
	13	男性の料理教室	健康に関する食生活を学びながら調理の実践を促し、地域の自主活動グループ等へ参画していくことを目的として、「男性の料理教室」の開催や、男性料理グループの活動支援等を行っています。(各区保健センター)	開催・支援回数	112	102	99	114	120	各年		第2次札幌市食育推進計画	120	各年		
				参加者数	1,793	1,218	1,051	1,239								
	14	健康料理フェスティバル	健康的でバランスの良い食生活を進めるために、札幌市調理師団体連合会との共催により、市内のホテルを会場として、年1回、健康料理フェスティバルを開催しています。(保)保健所)	実施回数	1	1	1	1			高血圧と食事についての講演を実施した。(食塩の1日あたり平均摂取量を減らす)					
	15	食生活改善推進員養成事業	食生活の地域改善活動推進の担い手である食のボランティアの食生活改善推進員を養成するため、所定のカリキュラムに基づく養成講座を実施しています。(各区保健センター)	推進員数	1,596	1,578	1,548	1,550			養成講座用の市統一の啓発ポスターを作成した。 事業前後にアンケートを実施し、内容の評価を行っている。	アンケート結果から、すべての受講者が健康づくりのボランティア活動に参加したいと回答。				
				修了者数	157	164	139	165								
	16	食生活改善地区組織活動の支援	食生活改善推進員が、健康づくりに役立つ調理実習等を含む講習会や食生活改善展などの活動をするための支援をしています。(保)保健所、各区保健センター)	食生活改善展	実施回数	23	20	20	24							
					参加者数	6,286	5,851	5,406	26,467							
				栄養講習会	実施回数	520	585	523	612							
					参加者数	21,078	23,399	25,938	26,965							
	17	高齢者の食生活指針の啓発事業	管理栄養士が介護予防の観点から、65歳以上の方を対象とした「高齢者のための食生活指針」を作成し、食育の啓発に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター)	啓発回数	104	91	76	68			高齢者の低栄養予防を目的に実施。(健康教育) 介護予防センター、食生活改善推進員協議会と協働のすこやか食育支援事業で啓発している。(保健所、各区保健センター)					
	18	高齢者口腔機能向上・栄養改善教室(二次予防事業)	管理栄養士や歯科衛生士、看護師などの専門職員が、元気であるために必要な栄養・食事、食べることに欠かせない噛む力や飲み込む力を保つ方法について楽しく学ぶ教室を開催しています。(保) 高齢保健福祉部)	実施回数	114	120	240	240			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	240	平成27年度達成済	平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	
				参加者数	728	695	1,425	1,251								

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績						その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考	
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値			目標達成予定年(年度)	平成27年度	平成27年度		計画名
身体活動・運動	19	札幌市健康づくりセンター	医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士などの専門スタッフが、健康診断や体力測定などの結果を基に、生活・運動・栄養指導などを通じて、個人に合った健康づくりの実践を支援しています。(札幌市健康づくりセンター)	中央健康づくりセンター利用者数	83,200	86,510	110,133	85,184	48,000	平成29年度	各館の利用者については、業務水準を大きく上回っている。	札幌市スポーツ推進計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画				
	東健康づくりセンター利用者数	38,102	37,968	45,513	48,160	18,000	平成29年度									
	西健康づくりセンター利用者数	121,083	120,704	150,875	148,252	90,000	平成29年度									
	20	健康づくりサポーター等派遣事業	市民の自主的な健康づくりを推進するため、健康づくりを目的とした地域の自主活動グループ等に健康づくりについて助言、指導を行うサポーターを派遣し、地域の健康づくりグループ等の主体的な活動を支援しています。(保)保健所、各区保健センター)	サポーター登録数	29	56	54	60			H28年度開催が、第10回市民交流ウォーキング大会に向けた集大成の研修となる。	札幌市スポーツ推進計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画				
	サポーター派遣回数	30	64	69	100	190	H31									
	21	ウォーキング実践指導ボランティア研修	健康づくりに取り組む市民を対象に、交流会及びウォーキング指導者としての知識や技術を学習する「ウォーキング実践指導ボランティア研修」を実施し活動を支援しています。(保)保健所)	参加者数	54	65	49	40			H29年度が、市民交流ウォーキング開催の最終年度となる。H28年度健康なまちづくりフォーラムの実行委員会にて、第9回までの評価を行う予定。	札幌市スポーツ推進計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画				
	22	市民交流ウォーキング大会	平成20年度からウォーキング実践指導ボランティア研修受講者を中心となり全区のボランティアが協力して「市民交流ウォーキング大会」を年1回、開催しています。(保)保健所、各区保健センター)	参加者数	293	241	280	330			ウォーキングマップの新規作成は、H26年度で終了。	札幌市スポーツ推進計画				
	23	ウォーキング推進キャンペーン	運動習慣の定着を目指し、ウォーキングマップの作成、普及啓発等を通し幅広い年齢層が気軽に取り組めるウォーキングを推進しています。(保)保健所)	/												
	24	転倒予防教室	高齢者の転倒を予防するため、介護予防センターで転倒を予防するための体操などの介護予防教室を開催しています。(介護予防センター)	実施回数	868	926	908	828			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	介護予防センターの設置箇所数 53カ所			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編
	25	さっぽろウィンターキャンペーン	雪道転倒防止と札幌らしい冬の暮らし方を市民とともに考え、作り上げていくために、札幌市のほか、開発局やNPO法人、民間企業などで推進協議会を設置して、ホームページを作成し、イベントや教室などのさまざまなキャンペーン活動を行っています。(保)高齢保健福祉部)	イベント回数	1	/						平成24年度以降実績なく、計画予定もなし				平成24年度以降実績なし。計画予定もなし。
				参加者数	32	/										
	26	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師・薬剤師・保健師・栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(運動)	実施回数	71	77	73	154			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
	参加者数	2,659	2,779	4,195	7,451											
27	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師・薬剤師・保健師・栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(ロコモティブシンドローム)	実施回数	/	3	4	14			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画				
参加者数	/	51	175	364												
28	介護予防教室(一次予防事業)	高齢者の閉じこもりを予防するため、介護予防センターが軽い体操や講話、交流会などの教室を開催しています。(介護予防センター)	実施回数	2,856	2,970	3,127	3,050			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	介護予防センターの設置箇所数 53カ所			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	
29	すこやか倶楽部	高齢者を対象に、転倒予防や体力増進のための体操、各種レクリエーション、交流会などを地域やボランティアの協力のもと実施しています。(介護予防センター)	参加者数	34,623	35,792	40,822	42,594			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	介護予防センターの設置箇所数 53カ所			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	
30	公園緑地や自然歩道、市民の森の利活用	身近な公園緑地における余暇活動や自然歩道、市民の森での散策ができる環境づくりを進めています。(建)みどりの推進部)	/								都市公園2,725箇所、自然歩道8ルート、市民の森6箇所を開放し、市民の余暇活動等に利用された。					
31	公式ホームページの充実	スポーツをしている人をはじめ、これからしてみたいと思っている人やスポーツに興味のなかった人にとっても、必要な情報を手に入れることができるように、利用者視点で内容の見直しを図ります。(札幌市スポーツ推進計画の計画期間で実施予定)(ス)スポーツ部)	/									札幌市スポーツ推進計画				

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績				目標値	目標達成予定年(年度)	その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考		
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度					平成27年度	平成27年度	計画名		目標値	目標達成予定年(年度)
身体活動・運動	32	地域スポーツ応援サイト「さぼスポネット」	体育振興会等の地域スポーツクラブの活動情報が検索できるインフォメーションシステムとして、さっぽろ地域スポーツ応援サイト「さぼスポネット」を積極的に活用し、地域スポーツクラブの活性化を図り、市民が身近な地域で気軽にスポーツ活動ができる環境をつくります。(ス)スポーツ部)														
	33	「ウォークさっぽろ」によるウォーキング情報の集約、発信	ウォーキングを通じて、市民がいつまでも元気であり続け、札幌が「歩きやすい街」「歩いて楽しい街」「歩きたくなる街」として、国内外に広く知られるようになることを目標として、公式ホームページ内で、各区のウォーキングマップや関連イベント等の情報を掲載します。(ス)スポーツ部)														
	34	スポーツ推進委員の活動促進	スポーツ大会やイベントの実施にあたり、スポーツ推進委員を積極的に活用するとともに、研修の実施や研究協議会への参加等により企画・運営のスキルアップを図り、地域スポーツの活動を促進します。(ス)スポーツ部)	委嘱人数(3月31日現在)	260	260	260	256									
				研修実施回数	3	3	3	3									
	35	学校体育施設開放事業	学校教育に支障のない範囲で小中学校の体育施設(体育館、格技室、グラウンド、プール)を市民の皆様に開放し、市民が自主的なスポーツ活動ができる環境をつくります。(ス)スポーツ部)	体育館開放校数	284	283	283	282									
				グラウンド開放校数	55	53	38	38									
				利用者数(延べ数)	1,417,741	1,358,183	1,321,299	1,353,712									
	36	オリンピックズキャラバン事業	オリンピック選手等を活用した体験会等を実施し、市民がスポーツをするきっかけづくりと町内会等の地域諸団体の活性化につなげます。(ス)スポーツ部)														
	37	地域スポーツにぎわい促進事業	「さっぽろ地域スポーツにぎわい促進委員会」を設置し、各地域におけるスポーツ活動の活性化に向けた、具体的な施策を検討します。(ス)スポーツ部)														
	38	地域スポーツ指導者活用事業	地域のスポーツ指導者(ボランティア)を市立中学校のスキー学習等に派遣し、学校と地域が一体となって子どもの学びを支援する仕組みづくりを推進します。(ス)スポーツ部)														
	39	ウィンタースポーツキャラバン	地域の公園等に用具や指導者を配置し、冬季に屋外で遊ぶ機会が減っている子どもたちに、雪遊びやウィンタースポーツを体験する機会を提供し、ウィンタースポーツに親しむ習慣づくりを行います。(ス)スポーツ部)	実施会場数	10	9	2										
				参加者数	1,540	1,165	460										
40	アスリートによる出前授業～ようこそ！ユキセン～	小学校にウィンタースポーツのアスリートを派遣し、アスリートとのふれあいやスポーツ体験により、子ども達のウィンタースポーツへの興味関心を高め、日常化への契機とします。(ス)スポーツ部)															
41	歩くスキー出前授業	歩くスキー授業を実施する学校を対象に、クロスカンリースキーの指導者を派遣し、子どもたちにウィンタースポーツの楽しさや喜びを伝えることにより、ウィンタースポーツに親しむ習慣を育てます。(ス)スポーツ部)	実施校数	10	5	10	12										
			参加者数	775	459	782	934										
42	スポーツ少年団活動支援	青少年スポーツの技術力向上及び底辺拡大を図るとともに、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成を目的に活動している札幌市スポーツ少年団を支援するため、団体運営、各種事業の実施にあたり補助金を交付します。(ス)スポーツ部)	補助金交付団体数(4月1日現在)	362	360	304	293										
			補助金交付団体所属人数(4月1日現在)	7,565	7,531	5,305	5,297										

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績					その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考				
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			目標値	目標達成予定年(年度)	平成27年度		平成27年度	計画名	目標値	目標達成予定年(年度)
休 養	43	健康教育	各区保健センターでは、こころの健康、健康増進等に関して医師・保健師等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(休養)	実施回数	2	0	0	1						・さっぽろ医療計画 ・札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
	44	精神保健福祉相談	精神保健福祉に関する相談のうち、複雑・困難なものを行っており、心の健康相談から精神医療に係る相談、社会復帰相談をはじめ、思春期、ひきこもり、アルコール及び薬物関連問題などの特定相談を受けています。(札幌こころのセンター)	相談件数(延べ数)	思春期	22	5	10	30		センターへの相談件数としては10代後半の思春期関連の相談が増加傾向にある。支援の狭間に陥りやすい思春期後半年代への相談を通して引き続き関係機関と役割分担、連携に努める予定。	第2次札幌市自殺総合対策行動計画(※精神保健福祉相談のうち、思春期特定相談事業のみ掲載。)						
					ひきこもり	38	41	27	30									
					薬物問題	6	3	4	2									
					アルコール問題	5	7	8	7									
	45	心の健康相談(電話相談)	精神疾患や心の悩み、対人関係などでお困りの方や家族に対して、療養方法や日常生活の相談を行っています。(札幌こころのセンター)	相談件数	札幌こころのセンター	3,733	3,789	3,821	3,818		相談件数は安定的に多く、市民の心の健康の維持・増進に寄与している。	第2次札幌市自殺総合対策行動計画						
					各区保健福祉部	11,491	9,916	10,153	11,766									
	46	精神科救急情報センター	夜間や休日に緊急の精神科医療を必要とする方からの電話相談を受け付け、病院との連携などのトリアージを行います。(札幌こころのセンター)	相談件数	4,366	4,073	4,151	4,306			例年通り	第2次札幌市自殺総合対策行動計画						
47	ゲートキーパー研修	自殺問題に関心のある市民や、自殺のハイリスク層と関わる支援者等を対象に、悩んでいる人に気づき、声をかけ、傾聴し、必要な支援につなげて見守るというゲートキーパーの役割を担える人材を養成します。(札幌こころのセンター)	専門職対象	実施回数	5	5	5	5				第2次札幌市自殺総合対策行動計画						
				参加者数	742	902	939	824										
			一般市民対象	実施回数	1	1	1	1										
				参加者数	111	101	187	176										
48	かかりつけ医によるうつ病対応力向上研修	精神科医以外の医師・産業医を中心とした、かかりつけ医が地域でうつ病の早期発見・早期対応を行うために、うつ病診療の知識・技術及び精神科等の専門医との連携方法を習得する研修会を北海道、北海道医師会と共同主催にて実施しています。(札幌こころのセンター)	実施回数	1	1	1	1				第2次札幌市自殺総合対策行動計画							
			参加者数	91	129	159	142											
飲 酒	49	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(飲酒)	実施回数	2	0	0	1						・さっぽろ医療計画 ・札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
	50	地域の自助グループや団体等との連携事業	総合的な自殺予防活動の支援を強化するために断酒会等と連携し、「自殺予防」や「アルコール依存症に関する正しい知識の普及等」をテーマとした講演会を開催しています。(札幌こころのセンター)	講演会開催回数	1	1	1	1				第2次札幌市自殺総合対策行動計画						
喫 煙	51	受動喫煙防止対策ガイドラインの普及	市民、事業者、行政が一体となって受動喫煙防止対策に取り組むため、「札幌市受動喫煙防止対策ガイドライン(第二版)」を作成し、普及啓発を行っています。(保)保健所							妊婦、子どもの受動喫煙防止を重視した、リーフレット、ポスターを作成。	市所管施設、パートナー協定企業へ掲示を依頼。							
	52	ここから健康づくり応援団(禁煙・完全分煙施設)	「ここから健康づくり応援団」では、札幌市受動喫煙防止対策ガイドラインに沿って、禁煙・完全分煙している企業・商店にステッカーを配付するとともに、札幌市公式ホームページ上に店舗名等を掲載しています。(保)保健所	禁煙・完全分煙施設登録数	577	630	666	817			H27年度は、飲食店の新規登録件数が18件であった。(禁煙17、完全分煙1)							
	53	さっぽろMU煙デー推進事業	平成22年10月から毎月3日を「さっぽろMU煙デー」とし、喫煙者、非喫煙者を含む全ての市民を対象とする受動喫煙防止キャンペーンを実施しています。(保)保健所	イベント実施回数	8	8	9	6		妊婦、子どもの受動喫煙防止を重視した、リーフレット、ポスターを作成。	市所管施設、パートナー協定企業へ掲示を依頼。	さっぽろ医療計画						
				参加者数	16,634	21,134	10,152	27,846										
	54	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(たばこ)	実施回数	17	2	2	0				・さっぽろ医療計画 ・札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画					
					参加者数	458	143	57	0									
55	健康教育	各保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(慢性閉塞性肺疾患: COPD)	実施回数			1	0				・さっぽろ医療計画 ・札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画						
				参加者数			25	0										
56	禁煙週間	世界禁煙デーに始まる禁煙週間に、各種イベント、パネル展等を実施し、禁煙に係る知識の普及啓発事業を実施しています。(保)保健所・各区保健センター																

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績						その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考					
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値			目標達成予定年(年度)	平成27年度	平成27年度		計画名	目標値	目標達成予定年(年度)		
歯・口腔の健康	57	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士、歯科衛生士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	健康教育(歯の健康)	実施回数	5	1	1	0											
					参加者数	67	11	20	0											
					健康教育(歯周疾患健康教育)	実施回数	10	10	11	10										
						参加者数	401	423	455	346										
	58	歯周疾患検診	40歳、50歳、60歳、70歳の人を対象に、札幌市指定の歯科医療機関で問診・口腔内診査による歯周疾患検診を行っています。(指定の歯科医療機関)	受診者数	895	949	634	2,043			新まちづくり計画(アクションプラン)として、検診対象市民への個別通知を開始。	個別通知の開始により、受診率が約3倍となった。	さっぽろ医療計画							
					受診率	0.83%	0.88%	0.58%	1.94%	10.0%	31年度			新まちづくり計画			31年度			
	59	むし歯予防教室	2歳頃までの幼児と保護者を対象に、歯みがき習慣の形成や良い食習慣についての集団指導を、各区保健センターで実施しています。(保)保健所、各区保健センター)	実施回数	116	117	108	108			第2次食育推進計画(29年度)	経年参加者数は増加傾向である。また、むし歯のない3歳児も増加傾向であり、継続した教室実施を通して計画の目標達成を目指す。	第2次食育推進計画	1500人	各年					
				参加者数	1,437	1,481	1,549	1,525	各年1500人											
	60	高齢者口腔ケア研修事業	医療、介護職員を対象とし、要支援・要介護高齢者の口腔状態の改善、機能の向上のための研修を行っています。また、一般高齢者を対象とした口腔ケア講習会も実施しています。(保)保健所)	実施回数	13	13	11	8					さっぽろ医療計画							
				参加者数	683	535	525	454												
61	妊産婦歯科健診	妊娠中あるいは、産後1年以内の妊産婦を対象に各区保健センターにて健診と保健指導を実施。(各区保健センター)	実施回数	120	120	120	120					さっぽろ医療計画								
			保健指導実施数	737	692	693	726													
62	むし歯・歯周疾患予防啓発事業	むし歯・歯周疾患予防のために円山動物園を利用したイベントの開催や各種イベント・パネル展等を実施し、普及啓発事業を実施しています。(保)保健所)																		
63	高齢者口腔機能向上・栄養改善教室(二次予防事業)	管理栄養士や歯科衛生士、看護師などの専門職員が、元気であるために必要な栄養・食事、食べることに欠かせない噛む力や飲み込む力を持つ方法について楽しく学ぶ教室を開催しています。(保)高齢保健福祉部)	実施回数	114	112	240	240			平成29年度より介護予防・日常生活総合事業に再編		札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	240	平成27年度	平成29年度より介護予防・日常生活総合事業に再編					
			参加者数(延べ数)	752	671	1,425	1,251													
64	学校における歯科保健対策	幼児、児童、生徒の歯・口腔の健康を保つため、各学校において「歯科健康診断」を実施しています。また、歯と口の健康づくり推進事業推進指定校や学校歯科保健優良校表彰への応募・歯と口の健康づくりに関する図画・ポスターコンクールの開催等を通じて、児童生徒へ歯・口腔の健康に関する普及・啓発を行っています。(教)学校教育部)																		
健康行動	65	札幌市国民健康保険特定健康診査	札幌市国民健康保険に加入している40歳以上を対象に、実施医療機関及び住民集団健診会場において、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を行っています。(指定の医療機関、北海道結核予防会)	受診者数	51,626	55,346	57,536	集計中			札幌市国保データヘルス計画	・札幌市、北海道、協会けんぽ、北海道労働保健管理協会との連携により、商業施設(アリオ)において普及啓発事業を実施した。 ・民間事業者(ポッカサッポロ・伊藤園)の協賛により受診促進のためのプレゼントキャンペーンを実施した。	札幌市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画 札幌市国保データヘルス計画	35%	平成29年度					
			受診率	17.6%	18.8%	19.7%	集計中	35%	平成29年度											
	66	札幌市国民健康保険特定保健指導	特定健康診査を受診した結果、生活習慣病発症の可能性が高いと判定された方を対象に、保健師や管理栄養士などによる特定保健指導を行い、生活習慣の改善を支援しています。(各区保健センター、各区役所、指定の特定保健指導実施機関)	受診者数	490	510	479	集計中			札幌市国保データヘルス計画	対象者の利便性を確保し実施率向上を図るため、特定保健指導実施機関数を増やした。(新規:17機関)	札幌市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画 札幌市国保データヘルス計画	20%	平成29年度					
			実施率	7.4%	7.4%	6.8%	集計中	20%	平成29年度											
	67	女性のフレッシュ健診	職場等で健診を受ける機会のない18歳～39歳までの家庭の主婦、自営業の女性を対象とし、札幌市中央健康づくりセンターで健康診査を実施しています。(中央健康づくりセンター)	受診者数	1,182	1,172	997	863												
	68	胃がん検診	職場等でがん検診を受ける機会のない40歳以上の方を対象に、問診、胃部X線撮影による胃がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	受診者数	41,346	39,634	38,600	39,458			札幌市がん検診受診促進キャラクター「けんしんけん」を制作し、普及啓発イベントに活用した。	普及啓発イベントに「けんしんけん」着ぐるみを登場させたところ、子どもたちが関心をもち、子どもから親に受診勧奨を呼びかけることができた。								
			受診率	7.3%	7.0%	6.9%	7.0%	50%(当面40%)	平成35年度											
	69	大腸がん検診	職場等でがん検診を受ける機会のない40歳以上の方を対象に、問診、免疫便潜血検査2日法による大腸がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	受診者数	77,091	78,313	78,936	84,124			同上	同上								
		受診率	13.7%	13.9%	14.0%	14.9%	50%(当面40%)	平成35年度												
70	子宮がん検診	職場等でがん検診を受ける機会のない20歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、子宮頸部細胞診(医師の判断により子宮体部の細胞診)、内診による子宮がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	受診者数	80,753	79,826	86,672	73,249			同上	同上									
		受診率	33.9%	32.7%	34.0%	32.6%	50%	平成35年度												

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績					その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考		
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			目標値	目標達成予定年(年度)	平成27年度		平成27年度	計画名
健康行動	71	乳がん検診	職場等でがん検診を受ける機会のない40歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、触診、マンモグラフィ検査による乳がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	受診者数	44,544	43,701	47,620	45,585			同上	同上				
				受診率	24.1%	22.8%	23.8%	24.3%	50%	平成35年度						
	72	肺がん検診	職場等でがん検診を受ける機会のない40歳以上の方を対象に、問診や胸部X線検査(問診の結果により喀痰細胞診)による肺がん検診を行っています。(北海道結核予防会 札幌複十字総合健診センター)	受診者数	14,486	14,838	16,412	17,546			同上	同上				
				受診率	2.6%	2.6%	2.9%	3.1%	50% (当面40%)	平成35年度						
	73	未来を守ろうプロジェクト	若い世代に子宮頸がんについて啓発するプロジェクトとして、学生のアイデアを取り入れた啓発活動を行っています。(保)保健所)	/							H26年度リーフレット、映像媒体を作成。H27年度作成した啓発媒体を活用し、啓発イベントを開催、ツイッターの開設。	平成28年度が最終年度となるが、学生主体での活動は継続。学生主体で取り組むことにより、若い世代の関心を惹くようなアイデア、取組を効果的に実施できた。				
	74	肝炎ウイルス検査	札幌市に在住している方でこれまでに肝炎ウイルス検査を受けたことのない方を対象に、委託医療機関で無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。(指定の医療機関)	受検者数	41,189	48,772	42,296	39,616								
	75	元気アップ応援事業	札幌市国民健康保険の特定健康診査を受けられた方で、糖尿病、高血圧症、脂質異常症の治療のため、特定保健指導の対象とならない方を対象に、疾病の改善・重症化予防を目的に保健指導を実施しています。(保)保険医療部)	実施回数	訪問・電話	309	423	372	473			糖尿病の合併症進展予防のため、平成27年度の新規取組として、対象者中、利用申込がない糖尿病治療中でコントロール不良の方に電話による利用勧奨と保健指導を実施した。	システム不具合により、10月末で新規の対象者に対する案内終了。	札幌市国民健康保険医療費適正化計画	80	平成27年度
76	感染症予防対策	①感染症に関する正しい知識の普及:感染症を予防するとともに、感染症患者に対する差別や偏見をなくすため、各種パンフレットや広報さっぽろなどのほか、マスコミ報道等を通して市民に感染症に関する正しい知識の普及に努めています。 ②結核・感染症発生動向調査:結核及び感染症の患者発生数等を収集・分析の上、教育委員会、市医師会等に還元するなど、感染症流行予測と予防啓発に役立てています。また、主要感染症について札幌市分のデータに独自の分析・コメントを加え、市衛生研究所ホームページ上で公開しています。(保)保健所)	/													
77	感染拡大防止対策	患者が発生したとき、必要に応じて保健所が感染症指定医療機関への入院勧告や特定職種への就業を制限するなどの措置を行っています。また、患者及び接触者の健康診断を行うほか、疫学調査を実施し、原因究明と感染拡大防止を図っています。(保)保健所)	/													
78	感染症健康危機管理	感染症に関する健康危機発生時に市民の生命を守り、感染の拡大を防止するため、平成9年度に情報の収集、分析、対応策の決定などについての具体的な指針として「札幌市感染症健康危機管理実施要領」を策定し、危機のレベルに応じた対策を講じています。(保)保健所)	/													
79	性感染症予防事業	思春期ヘルスケア事業や大学・専門学校・PTA等を対象とした健康教育、医療機関との連携により、性感染症予防および治療に関する正しい知識の普及啓発を行っています。(保)保健所)	/													
80	エイズ予防	①ポスター、パンフレット、リーフレットの作成や配付等による正しい知識の普及啓発を行っています。 ②保健所・各区保健センターでの相談窓口体制に加え、保健センターにおけるエイズ相談専用電話を実施しています。 ③世界エイズデー(12月1日)関連事業として、各種エイズ予防啓発事業を実施しています。 ④各区保健福祉部医師、看護師、保健師のカウンセリング研修等への参加を行っています。(保)保健所、各区保健センター)	電話相談件数	159	220	140	79									
81	HIV抗体検査	各区保健センターで毎月2回、匿名・無料のHIV抗体検査を実施しています。また、夜間HIV検査を毎月1回、休日HIV検査を年2回実施しています。さらに、民間に運営を委託した検査センターで土曜日検査を実施しています。(各区保健センター、指定検査センター)	受検者数	1,780	1,971	1,984	1,776									

健康行動

親子の健康

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績					目標達成予定年(年度)	その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度				目標値	平成27年度	計画名	
親 子 の 健 康	82	BCG接種事業	小児結核の予防のため、予防接種法に基づき生後5か月から8か月に達するまでの期間を標準的な接種期間としてBCG接種事業を実施しています。(各区保健センター)	接種者数	14,242	12,609	14,439	14,422				結核に関する特定感染症予防指針(国の指針)	95.0%	目標達成済	
				接種率	98.0%	96.2%	99.5%	98.2%	95.0%	目標達成済					
	83	結核の接触者健康診断	結核のまん延を防止するため、接触者等を対象として実施しています。(保)保健所	対象者数	4,282	3,119	5,157	5,174							
				受診率	96.1%	98.1%	99.3%	96.3%	100%						
	84	予防接種事業	感染症予防のため、予防接種法に基づいて、定期予防接種を実施しています。(対象となる疾病:ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、麻しん、風しん、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘、結核[BCG])(指定医療機関、BCGは各区保健センター)	麻しん風しん混合(MR)接種率	I期	98.9%	94.9%	99.4%	97.2%						H28.4.1からは日本脳炎追加
					II期	92.0%	92.2%	92.1%	90.0%	95.0%					
	85	高齢者インフルエンザ予防接種事業	65歳以上の高齢者、または60～64歳の方で、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいを持つ方(障害等級1級またはそれに準じる方)を対象に、市内の委託医療機関でインフルエンザの予防接種を実施しています。(指定の医療機関)	接種者数	199,870	209,754	222,737	219,977							
	86	妊婦一般健康診査	妊婦を対象として、「より安全で安心な出産」を迎えるために、公費負担により、14回の健康診査を実施しています。(保)保健所	受診者数(延べ数)	167,676	172,311	174,883	173,306					さっぽろ子ども未来プラン後期計画		
	87	妊婦甲状腺機能検査	妊婦を対象として、甲状腺機能異常の早期発見、早期治療を図るため、血液によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。(保)衛生研究所	検査人数	9,361	9,548	9,540	9,375					さっぽろ子ども未来プラン後期計画		
	88	母子健康手帳の交付	妊娠届出書を提出した妊婦に対して、各区保健センターで交付しています。(各区保健センター)	人数	14,975	15,259	15,203	14,902							
	89	初妊婦訪問事業<新規>	初妊婦全員を対象として、妊娠期間中に保健師や母子保健訪問指導員が各家庭に訪問指導を実施し、妊娠中から出産・育児のイメージを持ち、安心して出産、育児ができるよう支援する。(各区保健センター)	件数				935							
	90	母親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関する保健指導を実施しています。(各区保健センター)	開催回数	472	405	327	298					さっぽろ子ども未来プラン後期計画	参加者:H20年度7,859人から増加(No89～91合わせて)	平成26年度目標達成済
				参加者数(延べ数)	8,336	7,909	6,107	5,210							
	91	両親教室・父親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関し、主に父親の役割を中心に保健指導を実施しています。(各区保健センター)	開催回数	39	39	34	38					さっぽろ子ども未来プラン後期計画	参加者:H20年度7,859人から増加(No89～91合わせて)	平成26年度目標達成済
			参加者数(延べ数)	2,667	2,646	2,326	2,670								
92	ワーキング・マタニティスクール	働きながら出産・育児をする初妊婦およびその配偶者を対象として、働きながら妊娠、出産、育児等をするために必要な保健指導等を実施しています。(保)保健所	開催回数	6	6	6	6					さっぽろ子ども未来プラン後期計画	参加者:H20年度7,859人から増加(No89～91合わせて)	平成26年度目標達成済	
			参加者数	334	294	388	284								
93	離乳期講習会	乳児の母親を対象として、離乳に関する保健指導を実施しています。(各区保健センター)	実施回数	226	215	227	217			講習会は月齢に合わせて、2回実施している。終了後にはアンケートを実施し、内容の評価を行っている。(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をする人の割合を増やす)(各区保健センター)	アンケート結果によると、1・2回目共に「参考になった」と回答した人が98%を超えている。また、講習会参加後、「離乳食に対して自信が持てた」と回答した人が増加している。				
94	育児教室	乳幼児と母親を対象に、子どもの発育、発達に応じた育児の保健指導や情報交換を行っています。(各区保健センター)	開催回数	442	439	353	401								
			参加者数	14,393	15,407	12,117	14,377								

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績				目標値	目標達成予定年(年度)	その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度					平成27年度	平成27年度	計画名	
親 子 の 健 康	95	子育てサロン	子育て家庭が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる「子育てサロン」の設置を進めています。地域の関係者により運営されている地域主体の子育てサロン、児童会館等での子育てサロンに加え、週3回開催の常設子育てサロンの設置を進め、社会全体で子育て家庭を支えるまちづくりを推進しています。(子)子育て支援部 ※設置数は、年度末時点のもの	①地域主体の子育てサロン	設置数	181	175	173	170			第3次新まちづくり計画。戦略ビジョン、未来プラン			④H27年度末の児童館型常設子育てサロン数：59か所を含む
					開催回数	3,189	3,236	2,788	2,820						
					利用者数(延べ数)	117,227	117,914	107,063	97,013						
				②常設子育てサロン	設置数	25	51	63	74						
					開催回数	2,840	4,295	7,343	9,503						
					利用者数(延べ数)	96,500	150,776	150,352	309,815						
				③公設の子育てサロン(子育て支援総合センター、区保育・子育て支援センター)	設置数	8	8	8	9						
					開催回数	2,494	2,494	2,494	2,808						
					利用者数(延べ数)	137,560	144,900	155,117	171,446						
				④児童会館の子育てサロン※児童会館での常設子育てサロン18箇所を含む	設置数	99	100	100	100						
	開催回数	5,332	5,951	6,705	8,198										
	利用者数(延べ数)	270,275	264,295	284,972	311,469										
96	子育て講座	子育てに必要な情報を提供したり、乳幼児の心身の発達や親子のかかわりなどについて学ぶ機会を提供しています。(子)子育て支援部	子育て支援総合センター	開催回数	32	32	32	33							区保育・子育て支援センターはH27.4月にちあふる・みなみが開設され計8か所。 H27より、区保育・子育て支援センターと区子育て支援係の一元化体制により、講座を合算している。
				利用者数(延べ数)	923	1,107	1,134	1,006							
			区保育・子育て支援センター(7か所)	開催回数	115	115	107								
				利用者数(延べ数)	2,937	2,860	2,656	8,976							
			区子育て支援係(10区)	開催回数	52	50	45	275							
				利用者数(延べ数)	735	724	662								
97	子育て相談	子育てや子どもの成長発達における心配事や悩み事などの相談について、電話または面談により行っています。(子)子育て支援部	相談件数	子育て支援総合センター	645	592	605	1,069							
				区保育・子育て支援センター(7か所)	2,685	2,393	2,456	3,353							
				区子育て支援係(10区)	1,122	1,053	1,208								
98	次世代育成支援事業	小・中・高校生に乳幼児とのふれあいや、子育てに関する多様な体験の機会を提供し、ふれあう楽しさ、命の尊さ、男女が共に育児にかかわることの大切さなどを伝えています。(子)子育て支援部	子育て支援総合センター	開催回数	131	116	172	116							
				参加者数	1,585	1,425	1,567	1,147							
			区保育・子育て支援センター(7か所)	開催回数	1,023	752	789								
				参加者数	3,593	3,489	3,604	11,376							
			区子育て支援係(10区)	開催回数	232	265	248	440							
				参加者数	13,831	12,382	12,445								
99	出前子育て相談ピンポンこんにちは	家庭訪問による相談を希望する子育て家庭に、子どもへのかかわり、具体的な遊び方や情報提供を行っています。(子)子育て支援部	区子育て支援係(10区)		29	35	32	26							
100	女性の健康支援相談	妊婦、産婦を含む、思春期から更年期に至る女性を対象に、妊娠・出産・産後の健康相談、育児相談、家族計画、性や性感染症、不妊、更年期障害など女性の心身に関する相談を行っています。(各区保健センター)	開催回数	132	38	40	26								
			参加者数	253	53	147	52								
101	保健センターでの電話相談	妊娠・出産・産後の健康相談、育児やお子さんの健康に関する相談などについて、電話相談を行っています。(各区保健センター)	電話相談	18,101	18,628	14,373	19,377								
102	妊婦支援相談事業	妊娠届出書の提出時に面接相談を実施し、支援が必要な妊婦に対して、家庭訪問等による継続支援を実施しています。(各区保健センター)	面接相談数	14,918	15,219	14,949	14,810								
			継続支援実施数	780	890	830	887								
103	札幌市産婦人科救急電話相談	夜間の急な産婦人科系疾患について、毎日午後7時から翌午前7時までの間、助産師等が電話で相談を受け、必要に応じて医療機関への搬送調整を行っています。(保)保健所	電話相談件数	1,665	1,565	1,513	1,384			平成28年10月より、対応時間を毎日午後7時から翌午前9時まで延長する予定	さっぽろ医療計画				
			市民認知度	未調査	未調査	10.5%	未調査	50%	平成29年度						50%
104	新生児マススクリーニング検査	新生児を対象として、先天性代謝異常等の早期発見、早期治療を図るため出生した市内の医療機関で採血し、市衛生研究所で検査を実施しています。(保)衛生研究所	受検者数	16,151	16,360	16,465	16,474								
105	神経芽腫スクリーニング検査	1歳6か月児を対象として、神経芽腫の早期発見、早期治療を図るため尿によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。(保)衛生研究所	受検者数	9,934	9,953	9,752	9,547								
106	胆道閉鎖症検査	1か月児を対象として、胆道閉鎖症の早期発見、早期治療を図るため、便色調によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。(保)衛生研究所	受検者数	13,555	13,951	14,310	14,503								

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績					その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考			
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			目標値	目標達成予定年(年度)	平成27年度		平成27年度	計画名	目標値
親 子 の 健 康	107	4か月児健康診査	4か月児を対象として、健全育成と疾病等の早期発見を図るため健康診査と保健指導を実施しています。(各区保健センター)	受診者数	14,757	14,465	14,458	14,301									
	108	1歳6か月児健康診査	乳児から幼児への移行期にあたり、身体・精神および行動発達状況をチェックするとともに、育児指導、歯科健診を実施しています。(各区保健センター)	受診者数	14,399	14,106	14,133	13,983									
	109	3歳児健康診査	幼児期における身体および精神の発達状況をチェックするとともに歯科健診、保健指導を実施しています。(各区保健センター)	受診者数	13,980	13,945	13,956	13,740									
	110	5歳児健康診査・5歳児発達相談<新規>	5歳児を対象として、発育・発達の確認や育児支援、就学に向けた準備への支援等を行うため健康診査・発達相談を実施しています。(各区保健センター)	受診者数			380	618									
				相談者数			226	546									
	111	乳幼児健康診査	健全育成を図るため、10か月児および経過観察を要する乳幼児に対し、健康診査と保健指導を実施しています。(各区保健センター)	受診者数	13,916	13,447	13,796	14,081									
	112	乳児・1歳6か月児・3歳児・5歳児精密健康診査	乳児・1歳6か月児・3歳児及び5歳児健康診査の結果、精密健診を要する児に対し、市内の医療機関に委託し、実施しています。(指定医療機関)	受診者数	2,445	2,286	2,354	2,805									
	113	母子保健訪問指導	妊産婦、未熟児、新生児等を対象として、各区保健センター職員及び母子保健訪問指導員により家庭訪問を行い、必要な保健指導を実施しています。(各区保健センター)	指導件数	妊産婦	13,846	14,310	15,036	15,003					さっぽろ子ども未来プラン後期計画	新生児訪問実施率:H21年度91.0%から増加	平成26年度	
					新生児	4,396	4,060	3,782	3,787								
					未熟児	1,256	1,256	1,133	1,157								
	114	乳幼児発達相談	言語・情緒発達に心配のある乳幼児とその親に対し、子どもの発育・発達を促すとともに、良好な親子関係の構築と育児不安の軽減を図るため、各区保健センターにおいて個別の発達相談を行っています。(各区保健センター)	相談件数(延べ数)	2,089	2,230	2,261	2,257					さっぽろ子ども未来プラン後期計画				
	115	保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業(育児支援家庭訪問事業)	市内の医療機関において、「育児支援が必要」と判断された親子に対し、医療機関と各区の保健センターが連携を図りながら育児不安の軽減および児童虐待発生予防のために家庭訪問等による育児支援を行っています。(各区保健センター)	実施件数	711	850	865	903					さっぽろ子ども未来プラン後期計画	H20年度320件より増加	平成26年度目標達成済		
116	小児慢性特定疾病児童等療育相談支援事業	慢性疾病にかかっていることにより長期療養を必要としている子どもやその家族に対し、療養上や日常生活上の悩みや不安などについての相談や助言、福祉サービスなどの情報提供を行っています。(各区保健センター)	相談件数	100	141	138	211										
117	札幌市要保護児童対策地域協議会	児童虐待予防・防止に関して活動している関係機関を集め、情報の共有化、事例検討等を行い、連携の強化を図っています。(子)児童相談所	開催回数	1	1	1	1							児童虐待防止を促進するため各関係機関の連携を強固なものとするため、それぞれの活動状況について共友するための協議会を年1回開催。			
118	区要保護児童対策地域協議会	各区健康・子ども課家庭児童相談室において、児童虐待予防・防止、早期発見および虐待事例への円滑な支援を行う地域ネットワークを構築するため、関係機関代表者による連絡調整会議、事例検討会、研修会等を行っています。(各区保健センター)	開催回数	200	235	245	174							各区家庭児童相談室において関係機関と事例検討会議を随時開催。			
119	オレンジリボン地域協力員養成事業	児童虐待の早期発見・早期対応を図るため、民生委員児童委員、主任児童委員、青少年育成委員、一般市民等を対象に研修会を開催し、オレンジリボン地域協力員の養成を行っています。(子)児童相談所	研修会実施回数	45	51	33	27						新さっぽろ子ども未来プラン・アクションプラン	18,000人	平成31年度		
			新規登録者数	1,396	1,326	1,076	639					随時研修会を開催し協力員の増員を目指す。					
			実数	11,223	12,549	13,625	14,264	18,000	平成31年度								
120	夜間急病センター事業	夜間(午後7時から翌朝午前7時の間)の急病患者の応急処置を行っています。小児科においては、患者の集中する土・日・祝日・年末年始の準夜帯(午後7時から午前0時までの間)に医師を増員するなど、診療面を強化しています。(夜間急病センター)住所:札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 1階										指定管理者の更新を行った	受診者数:46,980人	さっぽろ医療計画			
121	休日救急当番運営事業・二次救急医療機関運営事業	土日祝日などの休日における初期救急医療体制や、より大きなけがや病気の際に休日及び夜間に対応する二次救急医療機関の調整を行い、市民が安心して生活できる確実な救急医療体制の整備を行っています。(保)保健所												初期救急参画:553医療機関(延べ) 二次救急参画:100医療機関(延べ)	さっぽろ医療計画		

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績					その他特筆する実施事項	進捗状況	その他関連計画			備考		
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			目標値	目標達成予定年(年度)	平成27年度		平成27年度	計画名
親子の健康	123	さっぽろ・子ども広場	保健センターから紹介された発達のおかたの子どもに対して、保健センターや児童会館などの地域の会場で月1回または週1回、専門スタッフ(保育士・心理療法士)が小集団での遊びを通して子どもの発達を促し、保護者の悩みや相談に応じています。また、保護者に必要な情報を提供し、個々の子どもの適切な進路をともに考えています。(子)児童相談所	出席者数(実数)	1,653	1,276	1,395	1,756								
				出席者数(延べ数)	8,952	8,976	8,886	9,204								
	124	幼児教育相談	就学前の幼児の発達上の問題、幼稚園等における適応上の問題、保護者の子育ての悩み、小学校入学などに関する教育相談を来所および電話で行っています。(市幼児教育センター)	来所相談件数	1,198	1,284	1,270	1,346			相談予約から相談実施日までの期間の短縮に向けて相談体制を見直し、その効果を検証中である。	札幌市教育振興基本計画				
				電話相談件数	1,906	2,040	1,958	2,128								
	125	教育相談	不登校や特別支援教育に関わる教育相談を来所および電話で行っています。(市教育センター)	来所相談件数	4,654	4,555	3,430	3,390				札幌市教育振興基本計画				
				電話相談件数	1,398	1,828	2,443	3,064								
	126	教育支援センター設置事業	学校に通うことが難しい子どもに対応するため、学校以外の場における子ども支援のあり方を調査研究し、子どもが抱えている不安や悩み等を和らげる居場所を設置します。(平成23年度から平成26年度に実施。平成25、26年度に1か所ずつ、計2か所に設置予定)(教)学校教育部)	教育支援センターの ・見学件数 ・体験人数 ・通室登録人数 ・状況改善率	教育支援センター白石の設置 ・見学件数117件 ・体験件数67件 ・通室登録数42件 ・状況改善率38%	教育支援センター宮の沢の設置 ・見学件数142件 ・体験件数92件 ・通室登録数67件 ・状況改善率46%	教育支援センター2カ所の状況 ・見学件数103件 ・体験件数78件 ・通室登録数66件 ・状況改善率50%			札幌市教育振興基本計画	状況改善率50%	平成31年度				
	127	ポロップひろば(未就学児の子育て広場)	各区市立幼稚園にて、就学前の子ども(主に2～6歳児)と保護者を対象にした子育て広場。月1～2回(開催日、開催時間は各幼稚園ごとに違う)園庭や園舎で親子で遊ぶことができ、その中で子どもとのかかわり方や就園、就学に向けた教育相談も行っています。(平成24年度開始)(教)学校教育部)	参加者数	8,828	5,654	6,828	6,828	5,949			札幌市教育振興基本計画				
	128	思春期ヘルスケア事業	市内の小・中・高校の児童・生徒を対象とし、各区保健センターの専門職が、授業の一環として性(生命)や性感染症等に関する健康教育を行っています。(各区保健センター)	実施回数	116	117	131	152			さっぽろ子ども未来プラン後期計画	実施校:H20年度69校より増加	平成26年度目標達成済			
				参加者数	14,491	13,285	14,495	16,458								
	129	思春期・婚前健康教育等	家族計画、母性保護等について正しい知識の普及指導をしています。(各区保健センター)	開催回数	7	7	2	4								
				参加者数	408	408	183	508								
	130	若者の性の健康相談	10～20歳代の方を対象に、性や性感染症・避妊等の悩みについて各区保健センターで相談を行っています。また、性感染症や避妊に関するパンフレットを市内の医療機関に送付し、指導や相談に活用するよう啓発しています。(保)保健所、各区保健センター)	医療機関相談件数	11,072	6,742	13,075	12,610			さっぽろ子ども未来プラン後期計画	普及啓発人数:H20年度12,948人より増加	平成26年度目標達成済			
保健センター相談件数				112	165	86	61									
131	少年育成指導員による巡回・相談	喫煙や怠学など子どもの問題に対応するため、繁華街や商業施設等を巡回して声かけや指導を行うとともに、悩みを抱えている子への相談にも対応するなど、青少年の健全育成や非行化防止に向けた取組を行っています。(子)子ども育成部)	巡回指導件数	6,092	7,377	6,992	6,028			新・さっぽろ子ども未来プラン						
			相談件数	54	32	36	35									
132	子どもの権利救済機関(子どもアシストセンター)	いじめなどの子どもに関する相談に幅広く応じるとともに、権利侵害からの救済の申し立て等に基づき、公的第三者の立場で、問題解決に向けた調査や関係者間の調整を行います。(子どもアシストセンター)	相談件数(実数)	1,197	1,035	1,046	1,000			新・さっぽろ子ども未来プラン 札幌市地域福祉社会計画 さっぽろ障がい者プラン 第2次札幌市自殺総合対策行動計画						
			相談件数(延べ数)	3,925	3,247	3,713	4,074									
133	幼児の地域教育相談	就学前の幼児の発達上の問題、幼稚園等における適応上の問題、保護者の子育ての悩み、小学校入学などに関する教育相談を市立幼稚園・認定こども園を会場に、来所および電話で行っています。(市立幼稚園・認定こども園)	来所相談件数		2,545	2,894	3,224			札幌市教育振興基本計画						
			電話相談件数		457	277	1,474									

「健康さっぽろ21(第二次)」取組状況(平成24年度～平成27年度)

健康を支え守るための社会環境の整備

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績				その他特筆する実施事項		進捗状況	その他関連計画			備考	
				項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値		目標達成予定年(年度)	平成27年度	平成27年度		計画名
	134	地域保健活動推進事業	市民が安心して、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう保健師による地域保健活動の充実を図り、地域が主体となった自主的な健康づくり活動を推進するとともに地域特性に応じた見守り体制の整備など、地域における個別支援のネットワークを構築します。(保)保健所							先行地区を選定した事業は28年度で終了。その後は、全市に波及させる。	先行地区の健康課題に応じて、住民や関係機関と協働で課題解決に取り組んでいる。	札幌市地域福祉社会計画			
	135	札幌圏域地域・職域連携推進連絡会札幌部会	地域保健と職域保健の連携により、健康づくりのための健康情報の共有や保健事業の共同実施、さらに健康づくりに関する社会資源の相互活用を行い、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備し、生活習慣病予防対策を推進します。(保)保健所							H27.11月に北海道と協会健保、北海道労働保険管理協会と共催で特定健診、がん検診普及啓発イベントを開催した(参加者345人)。	民間事業者(ポッカサッポロ、伊藤園)の協賛があった。	健康さっぽろ21(第2次)			
	136	健康づくりネットワーク促進	地域の健康づくり自主活動グループなどで構成される各区の健康づくり組織の活動活性化やネットワーク化を支援するために、各区保健センターでの研修等を開催しています。(各区保健センター)								健康づくり協議会等を設置している区は、10区中9区。設置していない区も、現在設置に向けて、実行委員会を組織。自主活動グループが情報交換し、健康づくりを推進する上での課題の発掘の場ともなっている。	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
	137	さっぽろ医療ガイド	市民に札幌市の医療体制を周知し、医療に関する相談窓口などを案内する「さっぽろ医療ガイド」を発行しています。(保)保健所	さっぽろ医療ガイドの普及度		未調査	未調査	未調査	50%	平成29年度		さっぽろ医療計画	50%	平成29年度	
	138	医療アドバイザー制度	医療機関のかかり方など、市民の医療に関する相談ニーズに対応するため、専門家等を医療アドバイザーとして登録し、地域における学習会などに派遣します(平成26年度までに実施)。(保)保健所	医療アドバイザー登録数		制度未運用	10人	10人1団体	10人	平成26年度	(一社)札幌薬剤師会を医療アドバイザーに団体登録	派遣依頼:17件 参加人数:延べ556人	さっぽろ医療計画	10人	平成26年度 目標達成済
	139	救急安心センターさっぽろ	急な病気やけがなどで、病院に行くべきか救急車を呼ぶべきか迷った時、看護師が電話で医療相談を行ったり、診療時間中の医療機関の案内を24時間365日行う「救急安心センターさっぽろ」を運営しています。(保)保健所	連携自治体数		0	2	3	8	平成29年度	平成27年4月より栗山町が加入、平成28年4月より島牧村が加入、平成28年10月より外国語対応(6か国語)を行う予定	相談件数:43,525件 (うち、救急医療相談:26,421件、医療機関案内:9,679件)	さっぽろ医療計画	8	平成29年度
市民認知度					未調査	43%	未調査	50%	平成29年度		50%		平成29年度		
	140	医療安全相談窓口の運営	既存の医療安全相談窓口を充実し、医療安全に関する市民への情報提供や相談機能、普及啓発を強化します。(保)保健所	相談件数	1,389	1,637	1,894	2,155				相談対応に対する納得度は、「納得した」「おおむね納得した」を合わせ88.7%であり、約9割の相談者から対応に納得いただけている。	さっぽろ医療計画	50%	平成29年度
医療相談窓口の認知度				未調査	未調査	8.9%	未調査	50%	平成29年度						
	141	薬物乱用防止の推進	一般社団法人札幌薬剤師会等との連携により、市民に対して薬物乱用防止に関する啓発を行います。(保)保健所								・区役所交付番号呼出システム、地下歩行空間大型ビジョン、4フロア大型ビジョンでの危険ドラッグ乱用防止啓発 ・地下鉄駅掲示板への危険ドラッグ乱用防止啓発ポスター掲示(年2回) ・ラジオ番組での危険ドラッグ乱用防止啓発情報への取材対応	さっぽろ医療計画			
	142	食の安全確保対策	①食の安全を確保するため、年度ごとに市民等の意見を取り入れた「札幌市食品衛生監視指導計画」を策定し、効率的かつ重点的な立入検査や衛生講習会等を行っています。 ②食品衛生パネル展や食中毒予防に関するパンフレット等により市民に対し正しい食品衛生知識の普及啓発を行っています。 ③食の安全・安心市民交流事業の開催等により、市民や食品事業者と食の安全確保に関する情報や意見の交換を行っています。(保)保健所												
	143	環境衛生対策	建築物や環境衛生関係施設(公衆浴場、理・美容所など)の衛生状態の維持・向上を図るため、年度ごとに事業計画を策定し、立入検査等を行っています。また、住まいの衛生を含めた環境衛生に関する市民相談や普及啓発事業に取り組んでいます。(保)保健所	環境衛生営業施設等への監視指導件数	3,498	3,289	3,322	3,056			・平成27年12月に、定山溪地区の旅館業等営業者に対し、衛生管理講習会を実施し、レジオネラ症防止対策及びトコジラミ対策の啓発を図った。 ・宿泊施設に係る都市局、消防局、保健福祉局の連携強化のため、「宿泊施設の情報連絡及び情報共有に係る連携要領」を策定した。	平成27年度事業計画に対する定期監視の実施状況は、環境衛生営業施設:105%、特定建築物・登録業:112%、飲料水施設:101%であった。			
住まいの衛生展等開催件数				13	14	14	13								
環境衛生関係相談件数				3,783	4,104	3,960	3,543								
	144	札幌市公共建築物シックハウス対策	札幌市の公共建築物の管理に携わる職員等に対し、「札幌市公共建築物シックハウス対策指針」の遵守を徹底するとともに、同指針に関する説明会や研修を毎年実施しています。(保)保健所	説明会・研修開催回数	3	3	2	2				各参加者のアンケート結果では、内容を理解できた旨、回答を得ている。			
参加者数				156	152	125	124								
	145	市民相談事業	保健所では、家庭、地域等における食の安全等や良好な生活環境を確保するため、種々の市民相談を実施しています。(保)保健所	食品衛生関係相談件数	3,397	2,651	1,838	2,092				食品への異物混入や山菜等の食中毒事例がマスコミに取り上げられたこと等により、相談件数が若干増加したものと推察される。			
環境衛生関係相談件数(再掲)				3,783	4,104	3,960	3,543								